

第 14 回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会

議事要旨

1. 会議名称 第 14 回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会
2. 日 時 令和 4 年 2 月 7 日（月） 13：00～13：45
3. 場 所 環境省システムによる WEB 会議
4. 議 題
 - （1） 災害廃棄物対策関連の主な国の動き
 - （2） 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画の見直し
 - （3） 令和 4 年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等の開催予定
5. 出 席 者
別紙参照
6. 配布資料
 - 資料 1 災害廃棄物対策関連の主な国の動き
 - 資料 2－1 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版の見直し案について
 - 資料 2－2 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版（見直し案）抜粋
 - 資料 3 令和 4 年度 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等の開催予定

7. 議事内容

(1) 災害廃棄物対策関連の主な国の動きについて

環境省中部地方環境事務所より説明を行った。質疑応答は以下の通り。

名古屋大学 今回の熱海市の災害は土砂災害であったため、災害廃棄物対応に関して国交省との連携は非常に重要だったかと思う。土砂に関しては国交省事業になるため、国交省や県土木所管課との連携が重要となったと思われるが、熱海市の事例では連携はどのように進められたか。また、環境省としてどのような仕組みを検討しているか。各県担当者にとっては、土砂排除事業や災害復旧事業など、国交省補助を活用する場合、県土木とどのように連携するかが重要な視点になるのではないか。

中部地方環境事務所 中部事務所としても現場で関わった関連事項として、長野市（令和元年東日本台風）の事例について情報共有させていただく。長野市では堤防決壊箇所を中心にがれき混じり土砂が発生した。その際、土木所管課も交えて検討を重ね、「堆積土砂排除事業」・「災害等廃棄物処理事業」連携を行うことを決めた。災害査定は国交省・環境省連携のもと共同で実施し、また、補助金に関する国交省事業・環境省事業の棲み分けに関しては、サンプルを取りながら土砂の中にどの程度の廃棄物が含まれるか確認し、宅地内、宅地外の土地面積で案分して棲み分けを調整した。がれき混じり土砂に関しては土木所管課が場所を確保、分別を行い、土砂は含水率を下げながら対応した。

名古屋大学 南海トラフ地震の推計などは名古屋大学のシステムを活用して実施可能である。当該システムについての情報は事務局を通じて共有していただくとよいかと思う。

(2) 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画の見直しについて

事務局より説明を行った。質疑応答は特になし。

(3) 令和3年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等開催予定について

事務局より説明を行った。質疑応答は特になし。

以上